

教科名	家庭	科目名	家庭基礎
対象	全スタイル	年次	1年
添削指導回数	6	面接指導時数	4
単位数	2	備考	必履修科目
教科書・補助教材等	家庭基礎(東京書籍) 家庭基礎DVD		
学習の目的	人の一生と家族・家庭及び福祉, 衣食住, 消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。また、家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる		
学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
前期	4	家族・社会との共生 第一章 自分らしい人生をつくる	生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめ、生活課題に対応した意思決定の大切さを理解する。
	5	第二章 子供とともに育つ	遊び, 基本的な生活習慣の形成, 食事, 健康管理について学ぶ。
	6	第三章 高齢社会を生きる	高齢社会の現状と課題を理解する。 高齢期の心身の変化や特徴, 個人差が大きいことを理解する。
	7	第四章 共に生き、共に支える	多様な人々のニーズ, ノーマライゼーション, ユニバーサルデザインの理念を理解している。
	8		
	9	第5章 食生活をつくる	日常の食生活を振り返り, 食生活の変化や課題について理解する。

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
後期	10	衣生活をつくる	被服のさまざまな役割を整理する。
	11	住生活をつくる	室内外の環境に着目し, 安全性・快適性等を考慮する必要性を理解する。
	12	経済生活営む	生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し, ライフステージごとのポイントを知る。
	1	調理実習	季節の食材等を使用し, 郷土料理を調理することにより, 伝統文化について理解を深める。
	2	生活を設計する	自分の目指すライフスタイルを考え, 高校卒業後の生活設計を立てる。
	3	復習	1年間の学習を振り返る。
学習上の留意点		実験・実習を行うに当たっては, 施設・設備の安全管理に配慮し, 学習環境を整備するとともに, 火気, 用具, 材料などの取扱いに注意し, 事故防止の指導を徹底し, 安全と衛生に留意する。	
評価の観点			評価方法
主体的に学習に取り組む態度	自身のキャリアを築くことに関心を持ち, 主体的に学習に取り組もうとしている。		レポート, 実習, 授業態度などを総合的に評価する。
思考・判断・表現	家庭科の学習がキャリア形成につながることにについて考えを深め, これから始まる学習に対する目標を表現している。		
知識・技能	調理器具の使い方。安全な操作など。 日本の伝統的な食文化について理解している。		